

令和7年度 事後評価シート

施策	25暮らしを支える地域交通の維持と基盤整備
K G I	①重要事業成果指標の目標達成数【基準値】 0（令和 5 年度）【目標値】 4 項目全てで目標達成 ②1. 県内の主な公共交通機関の年間輸送人員(鉄軌道、一般旅客自動車)【基準値】 29,883千人（令和 2 年度）【目標値】 40,656千人 ③2. 高速道路の整備率【基準値】 81.1%（令和 4 年度）【目標値】 83.6% ④3. コンパクトなまちづくりの推進に向けた都市基盤の整備率【基準値】 67.9%（令和 4 年度）【目標値】 73.3% ⑤4. 拠点形成を支援するための道路の整備率【基準値】 90.8%（令和 4 年度）【目標値】 91.3%

【細施策シート】

【策シート】

										担当部局		土木部			
細 施 策		25_03	都市の機能性、安全性、利便性及び快適性の増進							施策KGI		④			
K G I		コンパクトなまちづくりの推進に向けた都市基盤の整備率													
		KGI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
		R 4 年 度		目標値	68.7 %		目標値	69.4 %		目標値	72.6 %		目標値	73.3 %	
		基準値	67.9 %	実績値	68.2 %		実績値	70.4 %		実績値	72.9 %		実績値	%	
				達成率	99.3 %		達成率	101.4 %		達成率	100.4 %		達成率	%	
		ストック/ フロー	ストック	成果進捗 評価	不調		成果進捗 評価	順調		成果進捗 評価	順調		成果進捗 評価		
7 年 度	要因分析 【必須】		補助事業や交付金事業（重点）による計画的な整備を進めることができたため、目標達成に至ったと考える。												
	見直し方向性 【必須】		KGIの目標達成に向けて、整備延長を増進させるためには、交付金事業から補助事業への移行が有効と考えられることから、補助事業への移行可否を検討するとともに、補正予算の積極的な活用も合わせて検討する												